

## 入試結果



	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2019年度	280名	56名	120名	2.14倍	224名	258名	1.15倍	—	—
2020年度	280名	56名	103名	1.84倍	224名	241名	1.08倍	—	—
2021年度	240名	56名	100名	1.79倍	224名	279名	1.21倍	—	—

## 2022年度募集要項

### ◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 64名(20%)
- <選抜方法> 調査書・面接+小論文

### ◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 256名(80%)
- <傾斜配点> —
- <学力・調査書> ①ほぼ同等…192名(75%)  
②学:調=9:1…64名(25%)学力重視
- <自校作成問題> 数学【B方式】・英語【A方式】
- <全員面接> —
- <実技検査> —

## 学校情報

### ●選抜Ⅱにおける自校作成問題について

- 数学の自校作成問題は、一般学力検査問題の全部を置き換えて実施している。
- 答えを導くプロセスを記述させることで、数学的な見方・考え方、論理的な思考力を見る問題を出題している。
- 英語の自校作成問題は、一般学力検査問題に本校独自の問題を加えて実施している。
- 長文を読む問題などではなく、基本的な文法を問う問題を出題している。

### ●総合学科の特色について

- 進路希望に応じた選択ができるよう多くの特色ある教科・科目を置いている。また、1年次の「産業社会と人間」では、地域の課題や最先端の取組にふれることで、社会の構造を体験的に学び、2・3年次の「総合的な探究の時間」では、自分ごととして取り組むことのできる課題を設定し、解決策を練るなどの研究に取り組み、どのような課題に直面しても切り開いていけるだけのもの見方・考え方を身に付けることを目指す。

### ●学びの変化について

- 令和2年度よりBYOD (Bring Your Own Device) を導入し、情報端末を授業や家庭学習で活用することで、情報収集や表現の幅を広げている。また、「誠之館 学びのスタイル」として、動画等で単元の概要を確認して授業に臨み、さらに理解を深める形としている。課題についても、生徒個々の状態に合わせた「マイプログラム」による学習を取り入れ、生徒自身が自主的に学習に取り組める環境を整えている。

## クラブ活動

- 体育系 剣道/チアリーディング/陸上競技/ラグビー/硬式テニス/ソフトテニス/野球/サッカー/卓球/水泳/ソフトボール/フェンシング/バレーボール/バスケットボール/空手/弓道/ワンダーフォーゲル/バドミントン
- 文化系 文芸/天文/茶道/情報技術(IT)/放送/音楽部吹奏楽団/棋道/生物研/化学研/美術/書道/演劇/史学研/華道/漫画研/調理

## 進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。( )内は過年度生の内数。

	難関国立大	広島大	岡山大	国公立合計	同志社	立命館	関西	関西学院
2019年度	26名(2)	18名(1)	18名(1)	175名(11)	12名(2)	38名(3)	25名(1)	20名(0)
2020年度	10名(3)	16名(1)	21名(2)	159名(14)	9名(3)	66名(17)	17名(3)	15名(4)
2021年度	11名(2)	24名(1)	24名(1)	132名(10)	8名(8)	26名(9)	12名(5)	16名(2)